

日本共産党埼玉県議団ほっとNEWS

NO. 34

2011年12月20日 日本共産党埼玉県議団

048-824-3413

文化・スポーツ振興や災害に強いまちづくりを審査 県議会特別委で柳下、村岡両県議

12月20日(火)に県議会特別委員会が開かれ、柳下礼子県議は次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会で、村岡正嗣県議は総合的な危機管理・大規模災害対策特別委員会で、それぞれ県の取り組みや課題についてたどしました。

子どもたちに最良の楽器を 教育現場での楽器購入

柳下県議が取り上げたのは、教育現場での楽器の購入の問題です。「子どもたちの夢を育むうえでも、最良の楽器を提供できるようにすべきだ」と述べた柳下県議は、教育現場の要求に応じて最良の楽器を購入するように求めました。県は「良い楽器を提供するのは必要だ」としながらも、予算の関係もあって生徒のニーズに十分応えられない事情があると答え、理解を求めました。

すそ野の広いスポーツ普及を トップ選手育成だけでなく

スポーツ振興について、県側は競技スポーツの振興対策として「競技力の向上」や「ジュニア期からの選手育成」が強調されたのに対して、柳下県議は「トップアスリートやプロを目指して育成するというのではなく、すそ野の広いスポーツの普及を通して、その結果としてプロ選手が養成されるような取り組みにすべきだ」と指摘。多くの県民、青少年がスポーツに親しめる施設の拡充を強く求めました。

安全は確保されていると認識

学校体育館の天井落下対策で答弁

村岡県議は、多くの自治体で住民の避難所とされている学校体育館の天井が地震によって落下する問題を取り上げました。新潟県津南町での議会視察で、同町長から体育館天井の問題の重要性を教わったと述べた村岡県議は、県の対応をたどしました。担当の県教育局保健体育課は、県立学校については定期的に点検しており、市町村立学校についても各教育委員会に定期的な点検を働きかけていると説明しました。

村岡県議は、「現時点で体育館の安全は確認されているのか」と再度確認すると、保健体育課は「安全は確保されていると認識している」と答えました。

11人の女性委員が参加 地域防災計画の見直し

村岡議員はまた、9月定例県議会一般質問で取り上げた、地域防災計画の見直し作業に女性や障害者など「災害弱者」の声を取り入れることについて、実際はどうか質問しました。消防防災課は、見直しのための5つのワーキンググループのメンバー合計68人中11人を女性としたほか、「避難所設置・運営」ワーキンググループには障害者団体の代表も参加していると報告しました。

12月定例県議会
22日(木)が最終日です。
ぜひ傍聴にお越しください。